THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)
国際会長主題：“Our Future Begins Today ”「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題：“Respect Y’s Movement”「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題：ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を
中西部部長主題：世界をみつめ、地域とあゆむ
クラブ会長主題：－響き合う心と心－　さらに

Monthly Bulletin
第 245 号
2017 年 6 月

聖書のことば
いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。
（テサロニケ人への第一の手紙５章 16 節～18 節）
選者　山佐亜津子

６月第１例会プログラム

日時：2017 年6月 14 日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　保田　圭子

1. 開会点鐘　杉浦眞喜子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　山佐亜津子
4. ゲスト・ビジター紹介　杉浦眞喜子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. メンバー卓話
   「旬活、充活はいかがですか？」
   大橋昌美さん（YMCA 連絡職員）
   （いきいきエイジングセンター長）
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金　ドライバー
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　杉浦眞喜子会長

例会当番（D）　受付当番（C）

5月統計		4月修正	
第１例会出席者数	例会出席率		
メンバー　13 名	出席者　13 名	出席者	18 名
ビジター　０名	メイキャップ　４名	メイキャップ	１名
ゲスト　０名	合　計　17 名	合計	19 名
コメット　１名	在籍者　20 名	在籍者	20 名
合　計　14 名	出席率　85%	出席率	95%
BF 統計：外国 53g　累計　325g 日本 355g　累計　1334g		**提供者**：生雲、江見、桑原、藤井、藤好、渡辺	

“なかのしま１日研修会”報告

大岸　弘子

４月 29 日（土・祝）、恒例の研修会がホテルグランヴィア大阪で 10 時半から始まりました。プログラムは開会宣言、讃美歌、聖書、祈祷と進み「話し合い１」は一年を振り返って三役、各事業委員長の報告・反省、各自が感想を述べ、「運営マニュアル」も見直し箇所が改訂されました。

午後からは、次年度に向け吉岡香代子次期会長から“クラブのみんなと共に輝こう”という「会長主題」が発表されました。メンバーは高齢と病気の心配の方も増えている現状にあり“日々体に気をつけてワイズの諸活動に参加しよう”との願いから考えられました。

次いで各事業委員を決め確認し、事業毎に分かれて目標・計画を話し合い発表しました。勿論、年間プログラム案も出て楽しい例会のために全体図が見えてきました。

ティーブレイクで一息して、「話し合い 2」はクラブの現在・未来を考えようと４項目「①“今のなかのしまに問題があるとすれば何”　②“これからのなかのしまでやりたいことは”　③“私たちに何ができるかな”　④“なかのしまはこんなクラブでありたい”」を揚げ各自色別紙に思いを書き、ボードに張り出し、意見がたくさん上がりました。女性の視点・発想力が注目されるクラブの方向課題を後日話し合うことで、検討が続きます。

さて「地域奉仕・環境事業」次期主任の吉田由美さんから主任を引き受けた理由・方針が発表されました。クラブから主任の輩出は嬉しいことです。

もうひとがんばりは４月第２例会と続き、盛り沢山の議題も定時に済み、夕食を頂いて長時間の中身の濃い研修会が終わりました。

５月例会報告

新しい船出をみんなで考える

杉浦　眞喜子

５月 10 日、なかのしまクラブの第１例会は、大阪 YMCA 903 号室にて６時半より持たれました。出席者は、コメット１人を加えて 15 名、ゲストもビジターもなしのちょっと寂しい例会です。でも何となく「内輪だけ」というゆったりとリラックスした空気が流れていました。

今井さんの聖句についてのお話があり、連絡・報告の後お弁当でのお食事。そして、この日のプログラム「歌おう、なかのしまの初夏ー 新しい船出をみんなで考えようー」になりました。江見さんのリードでまずはグループ決め。わいわい言いながらジャンケンし、３つのグループに分かれました。

この間の一日研修会で４つの問いに対してみんなで書いたポストイットいろいろが貼り出されていて、その中から自分たちの話し合いたいこと、気になることなどを選んで、それについて徹底的に話をし、その解決策、具体案など考えるように、という指示でしたが……。

みんな真剣に見て周り、いくつかのカードをピックアップ。その後喧々諤々の話し合いが……。でも時間はあっという間にたってしまい、江見さんより、残酷にもタイムアップ！と。「えーっ、まだちょっとしか話していないのに……」「何枚も気になるカード持ってきたのに、未だ一つしか話せてない！」などなど。どのグループもいろいろしっかりと話し合ったけど、なかなか「解決策」「具体案」を出すまでにはいかなかったようでした。

でもとにかく、みんな本音で話し合い、お互いの言い分を聞き、またそれに対して一生懸命考えて……と、いい充実感を味わうことが出来たようです。最後に同じグループの仲間それぞれに、「褒めメッセージ」を送り、もっともっと話し合いたいねと言いつつ、閉会となりました。

……

うなぎの森植樹祭に参加して

生雲　文枝

５月 14 日、第５回うなぎの森植樹祭に参加しました。ワイズの事業としては２回目となるこの活動は今回、中国、台湾、インドネシアなど海外の若者、南 YMCA からの小学生を含め総勢 250 名に上りました。

昨年も挨拶をされた気仙沼市の「森は海の恋人」代表、畠山さんから淀川にもうなぎが戻ってきているというご報告をいただき、私たちの運動もお役にたっているという嬉しい気持ちになりました。また昨年植えた木もまだ小さいながら育っているのが確認できました。今年はウワミズザクラを植えたのですが、次期京都部部長の竹園さんのご指導をうけたのできっと立派に成長することでしょう。晴天のさわやかな山中での植樹でした。

東京たんぽぽＹサービスクラブ 15 周年記念例会報告

桑原　頼子

５月 13 日（土）東京たんぽぽＹサービスクラブの 15 周年記念例会に、なかのしまメンバー11 名が参加しました。あいにく夜半から雨、家を出るころはどしゃ降り。

たんぽぽさんのいつもの例会会場「東京 YMCA 山手コミュニティーセンター」は、東日本区のワイズメンと我々なかのしまと 128 名の参加者の熱気に溢れました。

小原史奈子会長の挨拶では、何日も前から前日まですべて手作りで準備されたとのこと。来賓のお祝いの言葉に続いて、越智美香さんのピアノと相田麻純さんのメゾソプラノで春夏秋冬を表す４曲の歌と、「カルメン」のハバネラを楽しみました。

祝会は、杉浦会長もお祝いの言葉を述べ、ビュッフェスタイルで食事や飲み物をいただきながら、旧知の方々とも歓談をし、とても和やかで賑やかで晴れやかでした。

「たんぽぽビンゴ」と称したゲームは、升目に好きな花の名前を書いていき、順に発表される名前と一致したらビンゴ！　その度に景品と交換して、笑顔がいっぱいでした。

最後に、実行委員長越智さんの御挨拶では、誰もが心配し気にかかっている越智さんの病状を話され、お元気そうに見える姿とは裏腹のご様子には胸が詰まりました。皆でエールを送り閉会。

心のこもった記念例会でした。小原会長、越智さん、中澤さん、服部さん、藤江さん、三浦さん、少数精鋭でお疲れ様でした。

場所を移して、たんぽぽさんとなかのしまの DBC 交流会は、美味しいハ女茶･ほうじ茶、甘味をいただきながら、毎度変わらぬ賑やかなおしゃべりの花が咲きました。

もう一つ。記念例会の前に、東京在住の小倉玲子さんを囲んでの昼食会を持ちました。リハビリをしながらも少しづつ仕事に復帰され、久し振りにお会いできていい一時でした。

たんぽぽさんもなかのしまも、アクシデントがありますが、皆が元気に楽しく過ごせますよう、祈るばかりです。

クリスチャニティー委員会の経験

江見　淑子

2009 年に名古屋クラブの永井潤さんに推薦され、クリスチャニティ委員会に属するようになりました。その後４年間、チャプレンとして働きました。

日本区が東西に分かれてから、西日本区は特にワイズのキリスト教基盤を大切にしており、2016 年には委員会は常任委員会になっています。

役員研修会や会長主査研修会での早天礼拝やキリスト教理解の講義など、各部から推薦された委員約 10 名で協力分担しています。仕事のほとんどは委員長の田上正さんが綿密な準備と指揮する中、メールで確かめ合うことなどで進めています。

研修会の話や理事通信の聖句黙想などを担当することで、理事や理事キャビネットと密接な交流ができたことを感謝しています。ワイズのキリスト教は基盤ですが信仰を強要しない姿勢を堅持しています。

昨年からはクリスチャンでない委員も構成員になりました。これはその表れといえます。

昨年の意見交換の中から、訃報などの文言にも変化がもたらされました。キリスト教では逝去したことを「召天」と言いますが、これに違和感があると疑義が出され、逆に仏教的な表現の「冥福を祈る」はその意味から（冥福は死後、あの世での幸福の事を指す）キリスト教では使いません。区事務所からの通知などから気を付けるようになりました。

因みに「昇天」はイエスキリスト以外には使わないので間違うとおかしなことになります。身近な言葉も内容に注意を向けることは大切です。ワイズで、キリスト教理解を教養、文化交流のツールとして、今後も色んな観点からの意見を出し合いたいと思いました。

私は牧師ではありません。大人のキリスト教教育の実際を体験する貴重な機会を与えられたと思います。なかのしまのみなさんもいろんな感想をお持ちでしょうが、宗教間の対話の場としてワイズのキリスト教があると知っていただきたいと思います。

アクティブに毎日を！
～YMCA シニアプログラムを通して

大橋　昌美

高校生との世代間交流を通して②
～シニアの元気は未来につながる～

今回、高校生たちはプログラムに参加したことで、今までもっていたシニアのイメージがだいぶん変化したようでした。

例えば、実施したアンケートで「高齢者だと思う年齢は？」という質問に最初は 66.4 歳だったのが、プログラム後は 70.9 歳になっていました。高齢者は 65 歳以上という世界保健機構（WHO）の定義からそのイメージがあったようでしたが、実際に今のシニアはアクティブで元気ですし、高校生の感想からも「激動の年代を歩んできたシニアの方々は私たちよりももしかすると柔軟で適応力が高いかもしれない」などもあり、知識や経験が豊富なところや実際にコミュニケーションをとることで寛容さや明るいというイメージもさらに持ったように思います。

プログラムを通して、今のシニアの姿は高校生に様々な印象を与え、そしてお互いの理解も深まったように思います。そして、シニアが元気に楽しくいきいきと過ごす姿を見せることで、若い世代もこれから迎える高齢化社会の中で自分自身がどのように過ごすのか、あのように自分も元気に楽しく過ごすことができればいいなと感じたのではないでしょうか。

ますますシニアのみなさんが元気に楽しく過ごしていくことは、自分自身のためにもそして若い世代のためにも必要なことだと思います。

この世代間交流プロジェクトは引き続き今年も実施することとなりました。前回参加した高校生が一緒にプログラムを企画運営していき、さらに次の若い世代につなげていこうとしています。

私たちはこれからも若い世代が自分たちのこととして未来を考え、またシニアが元気な姿で知識や経験を伝えることで次世代の若者を育むことができる活動が拡がっていくことができればと願っています。

ファミリーコンサート 2017 に参加して

渡辺　宏子

オペラ歌手とバイオリン・ピアノのクラシックコンサートと副題のあるコンサートが５月 20 日大阪 YMCA 会館２階ホールで催されました。

舞台のすぐ前のフロアに子供たちのために特別にシートが敷かれ、自由に動きながらコンサートの曲を聴けるという子供たちにとってはステキな計らいは、お子さんをお持ちになると、遠慮でコンサートへ足が遠のく親御さんたちにとって夢のようなコンサートだと思われました。

曲目もオペラ「椿姫」より乾杯の歌・おもちゃのチャチャチャ・野バラ・バイオリンのチゴイネルワイゼン・ドレミの歌と最後には全員で「ふるさと」を歌い、コンサート参加者にとって大満足の時間でした。

ニコニコ献金　5月　11,215 円

〈ニコニコメッセージ〉―　5月例会　―

☆第１例会を YMCA でするのは珍しいこと、でもプログラムに合わせて席も並べ、快適なプログラムになりそう。外は雨でもたのしい例会でした。（今井）

☆楽しく忙しいゴールデンウイークが終わり、衣替えその他で働きすぎました。ゆるゆる、ただようような毎日ですが、疲れました。（江見）

☆研修会に引き続きみなさんと一緒に考え語り合う機会は本当に勉強になりました。ぜひ何か新しいプログラムができればと思います。（大橋）

☆植木鉢の花々の季節も済んで、お礼の肥料を撒くと葉の色が一段と美しい濃緑にのびてきました。毎日の水やりを楽しんでいます。（大岸）

☆私たちのグループでは「国内プロジェクト」とか「次のテーマ」を求めて話し合いをしました。体力が求められるものには参加しにくいので「人々との交流」を頭に入れておきたいです。ともすれば「おっくうやなー」という気分に支配されそうになるので、なんとか克服したいと思っています。（国友）

☆８日 73 歳になりました。なかのしまで「カード」を頂くのが楽しみ！！７日には山田とディナーに行きました。（杉浦）

☆連休はとても静かに過ごしました。お墓参りと嫁さん、美帆との３人で女子会を宝塚ホテルで楽しくおしゃべりし、食事をいただきました。（武井）

☆きょうの雨すこしざんねんです。（武井美帆）

☆この季節さわやか、すがすがしい、いつまでも長く続いてほしいです。（藤井）

☆一日研修会に続き、皆んなで話し合いの時は実りの多い時間になりました。違う意見を認め合う、優しいクラブに 21 年目もなりそう！　江見さん、ありがとう！（藤好）

☆YMCA の教室で例会をすることができ、いろいろ話し合うことができました。（松下）

☆いつもの卓話者を迎えての例会と違って、これからのなかのしまクラブの活動を考える時が持てて良かった。（吉岡）

☆たんぽぽクラブ周年例会、うなぎの森事業、ファミリーコンサートと忙しい５月でしたが、なかのしま第１例会での話し合いが一番ほっとする時間でした。（吉田）

☆今日は YMCA での例会で、メンバーだけで行えるのは、なんだかうれしい気分です。（渡辺）

欠席者メッセージ

★同窓会の役員会出席のため、お休みさせていただきました。（生雲）

★この季節はいいですね～。緑のグラデーションや明るい花々は美しく、気持ちも明るくなります。（桑原）

★初めて他クラブ訪問のため欠席しました。やはりなかのしまの例会のことも気になってなんとなく落ち着きませんでした。同じ日でなければもっと楽しめたのでしょうか?（保田）

★５月の爽やかな初夏の頃だというのに、朝から夜までオフィスに張り付き、例会も出席できませんでした。でも仕事があるのは恵みですね。（山佐）

YMCA ニュース

☆第 290 回　早天祈祷会

日時…2017 年６月 16 日(金)7:30～8:30
証し…飯沼　眞さん（大阪泉北ワイズメンズクラブ会員）
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

新緑の季節はほんとうに気持ちいいですね。梅雨になる前に青空の下でのんびりウォーキングを楽しみたいなあと思います。ぜひ一緒にいかがですか？

大橋　昌美

４月第２例会報告抄

日時：2017 年４月 29 日（土）17：30～18：30
場所：ホテルグランヴィア大阪
出席者：17 名

1. 5月 14 日開催の「うなぎの森」事業について、実行委員会出席者より、活動や昼食など具体的な内容の報告があった。当日参加予定者は４名
2. 5月 20 日開催の「ファミリーコンサート 2017」事業について、実行委員会より、チケットの販売集計と当日の役割分担内容が示され、引き続き集客努力を続ける事を申し合わせた。当日参加予定者は 17 名
3. 5月 13 日に開催される「東京たんぽぽクラブ 15 周年記念例会」について、お祝金等を決め、乗車する新幹線の時間等が示された。参加者は 11 名
4. 鳥居翠さんの LD 委員継続就任をクラブとして承認した。

５月第２例会報告抄

日時：2017 年5月 17 日（水）18：30～20：30
場所：大阪 YMCA　504 号室
出席者：15 名

1. 「ファミリーコンサート 2017」について、実行委員より当日の注意点について説明があった。
   物品販売＝「わかめ」と「淡路産　新玉ねぎ」
2. 次年度プログラムについて、概要の説明があった。
3. 『うなぎの森』について、参加メンバーより報告があった。
4. 次年度「例会当番表」「役員・事業委員」が配布された。
5. 東京たんぽぽ 15 周年記念例会の参加メンバーから報告があった。

◇6月お誕生日の方◇　*Happy　Birthday*

渡辺　宏子　　5日　　吉岡　香代子　　6日

編　集　後　記

６月の花といえば、紫陽花（アジサイ）、花言葉は元気な女性、移り気など沢山あります。

なかのしまクラブはいつまでも、“元気な女性”のグループでありたいと思いつつ、編集後記を終えたいと思います。皆様、２年間、どうも有難うございました。